

小田原

広報

まちづくり情報誌

2004

11/1

NO.878 毎月1日発行

ただ今 子育て奮闘中!



国では昨年7月、次代を担う子どもが元気に生まれ、健やかに育つ環境を整備するため、「次世代育成支援対策推進法」を制定しました。本市も現在、子育て支援策を総合的に進めるための行動計画を策定中であり、子育てにやさしい環境づくりに取り組んでいます。

●児童福祉課 ☎331453

子育ては大変、でも楽しい

強い味方が近くにいます

核家族化や少子化が進む中、「近くに相談できる親がない」「地域におけるつながりが希薄になっている」などの理由から、子育てに関する不安や悩みなどを抱え込んでしまうかたが増えています。

私たちの次代を担うかけがえのない子どもたち。すべての人が子育てに関心を持ち、地域ぐるみで子育てを支援していくことが大切です。

本市では、保育所などの保育環境の充実を進めるほか、さまざまな子育て支援策を展開しています。

子育てに迷いや不安はつきものです。そんなとき、頼りになる仲間やスタッフが身近にいます。





新事業

新たに 「わくわくライブラリー」を 開設

「わくわくライブラリー」は、市内に8か所ある公立保育所の一角に、保護者や地域のかたがたの協力により新たに開設した、絵本を中心としたコーナーです

8か所とも
同じ内容の
もののなの？

催すなど、ライブラリーに参加される皆さんのご意見、ご協力をいただきながら、保育所とともにさまざまな活動メニューを生み出し、お年寄りから赤ちゃんまで、どなたでも自由に参加できる、地域の「出合いの場」に育てていきたいと考えています。

それぞれの保育所ごとに特色あるものにしていきたいと考えています。

く、いわば地域の子育て拠点としての役割を果たすための空間が、このライブラリーなのです。

絵本を利用できる
だけなの？

絵本をご利用いただくだけの場ではありません。育児の相談を受けたり、育児情報を交換したりする場としても利用できます。

保育所に入っていないと
利用できないの？

子どもさんの心のコミュニケーションに役立ててください。

保育所の利用者以外のかたがたにも開放しています。「わくわくライブラリー」を利用して、子育てに絵本の読み聞かせなどを積極的に取り入れ、お子さんとの心のコミュニケーションに役立ててください。

「わくわくライブラリー」のほか、「おだわらブックスタート事業」でも、絵本を通じた親子の触れ合いを支援しています。

おだわらブックスタート事業では、4か月児健診の際、赤ちゃんに絵本などをプレゼントしています。平成14年8月から始め、2年間で3,458人の赤ちゃんたちに配布しました。

赤ちゃんのごときを育むためには、抱っこなどの暖かみの中で優しく語りかけてもらう時間が大切だといわれています。

この事業は「ブックスタート」を贈り、親のひざに抱かれ、肌のぬくもりを感じながらごときと心を通わす、そのかけがえのない親子の楽しい触れ



合いのひとときを「絵本」を通して共有していただくことを目的としています。

ブックスタートパックの内容は、絵本「がたんごん がつんごん」と「びよんの2冊（10月健診時までは、「いないいないばあ」と「じゃあじゃあびりびり」）、イラストアドバース集「あかちゃんのすきなもの」の3冊です。

また、各種行政情報、さまざまな絵本、赤ちゃんの楽しいひとときをお過ごしください。

※「わくわくライブラリー」の取り組み内容は、各保育所にお問い合わせください。

保育所名	所在地	電話番号
下管我保育園	管我原347	42-0951
管我保育園	下大井104	42-2852
上府中保育園	千代694-1	42-1642
豊川保育園	成田654-5	36-4754
江之浦保育園	江之浦328-1	29-0271
早川保育園	早川2-3-13	22-2710
桜井保育園	曾比2153-2	36-0710
城山乳児園	城山2-1-5	34-3227

ほかにも、安心に子育てができるよう、市では次のような支援策を行っています。上手に利用して、楽しく子育てしてくださいね。

子育て支援センター

【城山2-15】社会福祉センター2階
☎340465 相談専用☎350052

経験豊富なスタッフが、子育ての悩みや疑問にお答えします。

相談方法は、毎週月曜日から金曜日（祝日除く）の9時から16時まで、電話または面談で（面談の場合は事前にご連絡ください）。

また、親子で自由に過ごせる場として「子育てひろば」を開設しています。保護者同士の情報交換の場としてもご利用ください。

育児に関する情報や各地域で活動している子育てサークルに関する情報も提供しています。

子育てひろば一覧

城山ひろば

【城山乳児園内】 ☎340465

月曜日（第3月曜日除く）13時～15時
火曜日10時～15時

マロニエひろば

【マロニエ】 ☎471515

水曜日・木曜日10時～正午

しらさぎひろば

【多古しらさぎ会館】 ☎350174

金曜日10時～15時

※日曜は、変更になる場合があります。

地域育児センター

市内各地域の保育所で行っている支援事業です。

育児相談（電話・面談）や育児情報の提供、子育て家庭同士の交流、情報交換など、身近な施設で気軽に利用ください。面談ご希望のかたは事前にご連絡ください。

施設名【所在地】	電話番号	相談日時
小田原愛児園【京町1-4-38】	22-3030	月～金曜日 10:00～16:00
小田原乳児園【京町1-2-15】		
山王保育園【深町1-30-30】	34-0380	月～金曜日 専門相談員による相談は電話予約
春光保育園【鶴高444】	48-5162	木曜日 10:00～16:00
国府津保育園【国府津3-11-25】	47-3355	木曜日（要予約） 10:00～16:00
西佐保保育園【橋山880】	36-0440	木曜日 9:00～16:00
種田友愛保育園【西大友485-2】	36-4378	月～金曜日 13:00～16:00
たんぽぽ保育園【伊川1139-2】	35-6505	第2・第4木曜日 9:00～11:00
桜井保育園【曾根21153-2】	37-3914	
豊川保育園【豊田654-5】	36-6538	月～金曜日 10:00～16:00
早川保育園【早川2-3-13】	22-2633	

「子育てひろば」で仲間づくり



子育て支援センターのアドバイザー府川雅子さんは「子育てをしていると、家の中にいることが多く、家族以外のかたとのかかわりが少なくなりますが、このひろばには同じくらい歳の年齢の子どももつたお母さんも多く、ちょっとした世間話も思わなくなるんです。1日平均20～25組くらいのかたが来られてます。悩みの相談もあります」と語ります。

マロニエひろばを利用されている中村さんたちは、「ひろばが開いているときは、だいたい来ています。ここにいる皆さんとはこのひろばで知り合いました。同じ世代の子どももつたかと話せて、よい気分転換にもなります。子どもも広いところで遊べるとよい刺激になっているようです」と笑います。

実際、中村さんたちは子育てひろば以外でも互いの家を行き来したり、一緒に買い物に出かけるなど、子育てでひろばから始まる交流は着実に広がっています。

ファミリー・サポート・センター

【城山2-15】社会福祉センター2階
☎350052

お子さんを預けたい人（依頼会員）と預かってくださる人（支援会員）が、それぞれ会員登録をし、会員相互による育児援助活動（有料）を行っています。

主な支援内容

●保護者の仕事と育児の両立や急な用事ができてお子さんを預けたいときなどに利用できます。

例えば、①保育所、幼稚園、放課後児童クラブなどの開始前、終了後のお子さんの預かりや送迎、②保護者の通院、学校行事への参加など急な用事ができたときのお子さんの預かりなど。

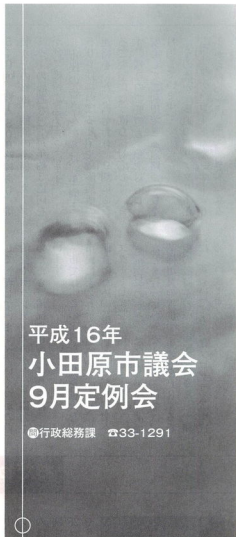
※援助活動は、原則として支援会員の家庭で行われ、6時から22時までの時間帯で必要な時間です。宿泊による預かりは、原則として行いません。

子育て支援スタッフ

子育て中の保護者が、子育てに関する不安や悩みなどを気軽に相談できる身近な相談役として、地域の子育て経験者のかたを「子育て支援スタッフ」に委嘱しています。お近くのスタッフに直接電話などで相談できます。

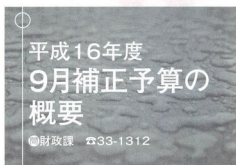
※スタッフへの連絡先は、児童福祉課の窓口（市役所2階、マロニエ住民窓口、保健センターなどの公共施設にあるリーフレットをご利用ください）。





平成16年 小田原市議会 9月定例会

◎行政総務課 ☎33-1291



平成16年度 9月補正予算の 概要

◎財政課 ☎33-1312

市議会9月定例会は9月1日から10月7日まで開かれました。

今年から、一般会計・特別会計・企業会計の全会計の決算審査が、9月定例会で行われました。審議された主な内容は次のとおりです。

- 専決処分報告3件(事故賠償)
- 平成16年度小田原市一般会計補正予算
- 平成16年度小田原市下水道事業特別会計補正予算
- 工事請負契約の締結(仮称)小田原市富水・東富水・桜井地域センター新築工事)
- 工事請負契約の締結(平成16年度小田原駅東口駅前広場整備工事)
- 工事請負契約の締結(平成16年度小田原駅東口地下公共通路整備工事)

● 土地の取得(小田原こどもの森公園わんぱくランド用地)

● 訴えの提起

● 平成15年度小田原市一般会計継続費精算報告書の報告

● 平成15年度小田原市下水道事業特別会計継続費精算報告書の報告

● 平成15年度小田原市一般会計歳入歳出決算ほか(全14会計)の決算の認定

● 平成15年度小田原市一般会計歳入歳出決算ほか(全14会計)の決算の認定

● 都市農業の確立に関する意見書

● 競輪事業のさらなる改革を求める意見書

● 義務教育費国庫負担制度存続に関する意見書

● 地方分権推進のための「国庫補助負担金改革案」の実現を求める意見書

● 教育委員会委員(安藤實英さん、横田俊一郎さん)の任命(同

意案

● 固定資産評価審査委員会委員(川口眞男さんの選任(同意案))

● 人権擁護委員(鈴木洋子さんの推薦、意見案)

● 選挙管理委員会委員(込山明成さん、椎野恵さん、椎野忠利さん、高橋克守さん、同補充員(岡部勝司さん、瀬戸幾さん、森谷淳郎さん、小澤芳信さん)の選挙

● 農業委員会委員(木村信市さん、谷神久雄さん、相澤博さん、渡辺辰雄さん)の推薦

● 9月定例会の議案は、行政情報センター(市役所4階)、支所・連絡所で閲覧にできます。

● 詳しい審議の内容は、11月上旬に配布される「市議会だより」をご覧ください。

一般会計補正予算

(4億1,394万1千円追加)

下水道事業特別会計補正予算

(2,892万6千円追加)

この結果、全会計の予算額は、1,459億4,832万9千円となりました。

補正予算の主な内容は、次のとおりです。

● 市政広報専門員の設置…市の考え方や政策などをこれまで以上に効果的に発信するため、公募により民間企業等の広報担当経験者を市政広報専門員として採用します。

● 地域安心安全情報共有システム…市民がインターネットや携帯電話などを活用し、防犯・防災など地域の安心・安全情報を共有するシステムの検証実験を行います。(実験対象地区…

酒匂小学校学区)

● 国府津駅前広場の整備…国府津駅前広場の交通混雑の緩和を図り、利用者の安全・利便性を確保するため、国府津駅前広場整備の実施設計などを行います。

● 小田原駅東口地下公共通路の整備…小田原駅東西自由連絡通路から東口地下公共通路への円滑な歩行者動線確保するため、お城側の階段、エスカレーターの付け替えを行うとともに、駅ビルエレベーター接続に伴う地下街側の整備を行います。

また、「寄付者(覧)」のとおりご寄付をいただきましたので、そのご意思を生かせるように、各基金に積み立てるとともに、事業費に計上しました。

【寄付者(覧)】(敬称略)

● ふるさと文化基金寄付金 (合計7万9,600円)

● 神奈川県小品盆栽連合会 (合計30万3,145円)

● 神奈川県車道連盟小田原支部 (合計30万3,145円)

● 小田原市黒田協会 (合計30万3,145円)

● 小田原市黒田協会 (合計30万3,145円)

● 小田原市黒田協会 (合計30万3,145円)

● 小田原市黒田協会 (合計30万3,145円)

● 小田原市黒田協会 (合計30万3,145円)

● 小田原市黒田協会 (合計30万3,145円)

行革ニュース 第7回

市民の皆さんと一緒に

安全で快適なまちをつくりまします

行政改革大綱「おだわら改革宣言2002」では、「市民満足度の向上」を目標の一つに掲げています。今回は、市民の皆さんからの「要望が多い道路や公園の整備について」を報告します。

歩道の段差解消や舗装の修繕など安全な道路づくりを目指します

今年1月に実施した「市民満足度重要度調査」では、渋滞緩和のご要望のほかに、「カーブミラーや標識を整備してほしい」「舗装修繕や歩道の整備をしてほしい」という意見をいただきました。

市が管理する市道は、総延長約54.0km、約1,800路線あり、舗装などの修繕、側溝の清掃、カーブミラーの設置など、毎年約5億円をかけて維持・管理をしています。

市民の皆さんからは、年間1,500件にのぼる要望や危険箇所の連絡をいただけており、9割にわたるご要望には、直ちに対応しています。残りのご要望も、順次対応し、安心でご利用できる道路づくりを目指しています。

そのほか、歩道のバリアフリー化「セーフティロード事業」を平成6年から行っています。対象となる

660か所のうち、345か所にわたる交差点での歩道の段差を小さくし、皆さんが安心して歩ける道路づくりをしています。

◎行政経営室 33 1305

「里親制度」で、市民の皆さんと一緒に道路や公園の美化を進めます

街路樹のある道路や皆さんの身近にある公園は、市の職員が定期的に巡回して管理していますが、いくつかの自治会やボランティアのかたにご協力をいただき、清掃や花壇づくりを行っています。

市では、このような活動を拡大し、市民による身近な道路や公園の美化・保全のため、「里親制度」モデル事業をスタートしました。

「里親」のかたがたには、美化、清掃などを行っていただきます。市では、清掃用具の提供や「里親」をPRする看板の設置を行い、市民の皆さんと一緒に、新しい「まち美化プログラム」を進めていきます。

おだわらインフォメーション

Odawara Information

女性に対する暴力をなくす運動
11月12日(金)〜25日(木)

◎女性行政課 33 1725

男女を問わず、暴力はいかなる理由があっても許される行為ではありません。特に、夫や恋人からの暴力であるドメスティック・バイオレンス(DV)、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為など女性への暴力の根底には、女性の人権の軽視が考えられます。

男女共同参画社会をつくるためには、これら女性への暴力は克服すべき重要な課題です。この機会に女性への暴力について考えてみませんか。

おだわら女性プラザでは、期間中、DV・セクハラに関するリフレットの配布、関連図書展示のほか、DV・ストーカー対策に関するビデオの放映(11月15日(月)〜25日(木)随時)を行います。グループやサークルなどの勉強会にもお役



ご存知ですか?

DV防止法が改正され、12月から施行となります。

主な改正点

●「配偶者の暴力」定義拡大

「配偶者の暴力」は身体への暴力だけでなく、心身に有害な影響を与える言動も含まれることになりました。また、夫、パートナー(事実婚を含む)だけでなく、離婚後の元配偶者からの暴力も対象となります。

●保護命令制度の拡充

加害者が被害者に近づくことを禁止する保護命令を被害者の子どもも対象とします。また、住居からの退去命令の期間が2週間から2か月に拡大されます。

そのほか、被害者の自立支援や被害者の国籍、障害の有無などを問わず、その人権を尊重することが明文化されました。

※市役所では、女性問題に関する相談は婦人相談員が承ります。

児童福祉課 33 1453

政策総合研究所通信

●政策総合研究所 ☎33 1315

土地柄に合った問題解決の仕組みづくりへ向けて

今年度の政策総合研究所の研究テーマの一つ、「地域コミュニティでの問題解決の仕組みづくりに関する実践的研究」では、研究チームが下曽我地区を一つのモデル地区として、住民のかたと一緒に実践的な研究活動を始めました。今回はその動きを紹介します。

「個」が直接、地域社会に向き合う時代に

地域コミュニティでの問題解決の仕組みが必要とされる背景を改めて考えてみましょう。

今、小世帯化が進んでいます。昭和55年に過半数を占めていた子どものいる核家族は次第に減少し、単独世帯と夫婦のみの世帯が急増しています。合わせて42・3%に達しています(グラフ1)。

今後も単独世帯の増加が予想され、個人を包み込んでいた「家族」が社会の最小単位でなくなり、「個」が地域社会と直接向き合わざるをえない時代になってきています。



より具体的に、より実践的に

平成15年度、政策総合研究所では、

問題解決力を高める仕組みの共同研究

現在、下曽我地区の若手10人と政策総合研究所のメンバーが一緒になって、下曽我地区の問題解決力を高める仕組みを議論しています。統計資料や住民のかたへのインタビューで地域のことを掘り下げながら、地域の魅力と課題の把握・分析から活動を始めています。



今後、地区の住民のかたに向けての公開研究会(1回目は11月23日祝14時から梅の里センターで開催予定)なども行いながら、検討を進めます。

地域コミュニティ・フォーラムも開催

研究所では、モデル的に研究を進める一方で、身近な地域社会が直面している状況や地域の課題を市民の皆さんにも考えていただくため、市内2か所でミニ・フォーラムを計画しています。

1回目は、左記のとおり国府津公民館で行います。ぜひご参加ください。

第1回地域コミュニティ・フォーラム

日時 12月12日(日) 14:00~15:30 場所 国府津公民館

- 内容 第1部 14:00~14:30**
今、身近な地域の問題を考えるー「4人のあなたの物語」朗読と解説ー
解説 政策総合研究所所長 後藤孝彦さん(早稲田大学教授)
- 第2部 14:30~15:30**
地域助け合いシステム・マル徳 ミニ体験
40人・先着順 ※託児を希望する方は電話でご連絡ください。
- 定員 申込**
11月15日(月)から、氏名・住所・連絡先を電話またはファクスで(ファクスは、政策総合研究所行きと書いてください)。☎33-1286



高齢者のスポーツとして普及してきたグラウンドゴルフ

高齢者を

地域の力

で支えます！

ふれあい担い手発掘モデル事業

●高齢介護課 33 1864

現在、国では介護保険制度の見直しが議論されています。そこでは、高齢者の皆さんが元気に過ごすことによって、要介護状態になることを遅らせる介護予防や、自宅に閉じこもることを防止するための事業が重要なものと位置付けられています。

市では、今年度から、地域の皆さんでこれらの活動を支えていただく「ふれあい担い手発掘モデル事業」を始めました。この事業の実施団体は、6月に広報「おたわらいふ」で募集して活動内容のヒアリングを行い、高齢者が地域住民とふれあいながら無理なく参加できるかを判断し、決定しました。

市ではこのような地域住民同士の支え合いや、世代を超えた助け合いが生まれることにより、高齢者になっても住み慣れた場所で安心して暮らしていただけるような地域づくりを目指しています。

市長随想

成田エクスプレス

文 小澤良明

今年十二月から「成田エクスプレス」が小田原に！突然のようには飛び込んできた朗報である。小田原駅は首都圏の西の玄関、かつ世界のリゾート富士箱根伊豆国立公園の東の玄関、と重要な役割を担う広域交流拠点駅である。そこで、十年も前から新幹線ひかり号の増停車の実現をと、商工会議所、自治会総連合等や近隣市町の皆さんと共に、JR東海へ毎年息長く陳情、要請を繰り返してきた。

昨年十月、苦勞の甲斐あつて品川新駅開設と同時に上り下り各三本、計六本の増停車を勝ち取ることができた。隣の熱海駅は0回答だったのに、である。併行してJR東日本にも「湘南アクティ」の増発車、特に最近では高崎や大宮から小田原への直通便である「湘南新宿ライン」の拡充をお願いしてきた。首都東京をまたいで群馬や埼玉から小田原へ直行できるこの路線の大きな果実に着目したからである。

それがこの十月十六日から「湘南新宿ライン」が大增発。それも新宿―小田原間最速七十分の電車が一日に一本実現、というおみやげまでいただいた。これに対抗する形でJRと競合する小田急も、小田原―新宿間



大窪社協クラブ
代表：石川信雄さん

活動地域：大窪地区

「高齢化が進む中で介護予防や閉じこもりを防止するため、地区社会福祉協議会や自治会、老人会、体育振興会の協力のもと、簡単に危険のないグラウンドゴルフを通じて、地域とのふれあい、健康保持、また、若い指導者の発掘を図りたいと考えています。」



足柄地区第34区自治会
代表：林弘さん

活動地域：中町

「グラウンドゴルフは今まで数回、地域で行っていましたが、幅広い年代に声をかけ、世代を超えたつながりができるよう応募しました。グラウンドゴルフは簡単にストレスがかからないので、若者男女を問わず、だれもができるスポーツです。いろいろな方に参加していただくことで、地域の活性化につながりたいと思っています。」

01 グラウンドゴルフ

近年、高齢者向けのスポーツとして広まっているグラウンドゴルフはマイペースででき、また、コミュニケーションも深められるため、介護予防だけでなく、閉じこもり防止につながります。



お花の会

代表：
星野美佐子さん

活動地域：中里など

「高齢者が増えていく中で、地域住民の力で寝たきりや閉じこもりにならないように、また高齢者でも手軽にできる活動として応募しました。生け花は女性のものと思われるがちですが、お話をなどを通じて男性にも参加していただいています。」

02 生け花

高齢者が家に閉じこもらないように、地域の公民館を使用して生け花を行っています。



あしたばの会
代表：相澤文子さん

活動地域：桜井地区

「メンバーはみんながボランティアですが、地域の皆さんと連絡をとって活動しています。来ていただく皆さんに気軽に会話してもらえスペースとして、イベント用テントを購入しました。この活動を通じて高齢者や障害者であっても、皆がふれあい助け合う地域社会が作れたらいいと思います。」

03 高齢者ふれあい活動

地域のお祭り、健康体操や野点などのイベントなどにテントを設置し、高齢者、障害者のかたがたが気軽に地域住民とふれあえるような活動をしています。

ふれあい担い手 発掘モデル事業とは…

地域住民による高齢者の介護予防や、閉じこもり防止のための活動に必要な備品購入の補助を行うことで、高齢者を支える地域住民「ふれあい担い手」を発掘・育成するものです。



写真提供：JR東日本横浜支社

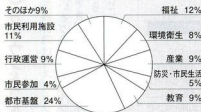
成田国際空港へ一時間半。とりあえずは一日一往復であるが、小田原の夢と希望を世界へ繋げる端緒にはなるだろう。「交通至便」は本市の特長だが、更に磨きをかけるべく、こうした長い間の多くの関係者の真摯で着実な努力があるのである。

羽田空港の国際化と神奈川口構想も云われ始めた。鉄道も道路も冷たい鉄とコンクリートだが、小田原の発展を願う熱い想いをストレートにそして脈々と伝えてくれる、そんな確信を持ちながら、また新たな目標へ向かって私はびたすら突っ走る。

に快速急行を走らせ、従来より十分早い八十二分にするとという本市にとっていわば余録まであった。

現在大船始発の成田エクスプレスを何とか小田原まで、という発想も、例の世界のヒルトンの本市進出があつて、さあ小田原情報の発信を地球規模で、という私自身の思い入れもあるのだが、何よりも小田原駅東西自由連絡通路アークロードの完成、という県西広域エリアにとつてエポックメイキングな出来事をより大きくふくらませたい、という私達関係者の切なる願いもあったのである。

平成15年度にいただいた 市長への手紙の内訳



皆さんからいただいたご意見の 一部をご紹介します



鴨 宮駅にエレベーターやエスカレーターをつけてほしい。子どもを連れて階段を登るのは大変です。また、お年寄りのかたはもっと大変そうです。



鴨 宮駅自由通路への昇降施設整備の取り組みは、現在、細かい構造や規格などを決める実施設計の作業に取り組んでいます。今後は、この設計に基づき平成17年度の着工、18年度の完成を目標として、南口と北口へそれぞれエレベーター・エスカレーターを整備できるよう努めています。また、改札の内側（うち内）と外側（うち外）の一体的な整備が図られるよう東日本旅客鉄道㈱と関係機関との調整を進めています。



な りわい交流館について、由来や建物の説明がほしい。また、入館無料やトイレなどの表示があった方がよい。

イベント時の2階への誘導も足りないように感じた。トイレの増設もお願いしたい。



い たいた貴重なご意見は、施設管理者である私たちも気づかない利用者から見た率直なご意見であり、大変参考になりました。ご指摘いただきました点のうち、「トイレの増設」などは、もう少し長い目で見て、ニーズを把握していきたいと考えていますが、「お客様の2階スペースへの誘導」や「トイレの表示」など、速やかに改善できることは直ちに実行に移し、より良い施設になるよう努めていきたいと考えています。

その後の対応

お手紙をいただいたかたにも相談しながら、建物案内板、各種表示類を設置しました。

市では、市民参加のまちづくりを進めるため市民の皆さんの声をお聴きし、まちづくりに生かしていく制度として「こんにちは、市長さん」市民の声の直通便」を行っています。

まちづくりへのご提案や、行政が気づかなかったことへのご意見など多数のお手紙をいただいています。

お寄せいただいたお手紙は、市長が全てに目を通し、責任を持って回答します。

また、関係部課などでも検討し、各事業を進めていく際の参考にさせていただきますとともに、実現可能なものについては、積極的に事業に組み込んでいきます。

今後、建設的なご意見・ご提案をお待ちしています。

市長への手紙用のはがきは、市役所・支所・連絡所、図書館などの公共施設、郵便局などの窓口にあります。ぜひ、ご利用ください。



なお、ご意見は、はがきのほかに、ファクスでも受け付けています。
☎32-64640

皆さんの声が
小田原のまちを
変えていきます

こんにちは、市長さん
～市民の声の直通便～

☎広報聴室
☎33-1263



「心の健康・心の教育」掲示板

人々に多くの感動を与えてくれた、アテネオリンピック。また、市内の多くの小学校では、この秋運動会が開かれ、親子で多くの思い出ができたことでしょう。さて、静かなる教育論議「心の健康・心の教育」掲示板、今回のテーマは、「スポーツ・運動」についてです。

●学校教育課 33 1682

「静かなる教育論議」で
お寄せいただいたご意見

●体力をつけることが心や能力を育てることになると思う。ゲームやテレビ、携帯電話中心の生活では、体力は衰えるばかりです。外での遊び場が少ない今日、もっと運動に力を入れてもよいのではないのでしょうか。

●中学生のスポーツ離れを止めるためには、クラブ活動を活性化させなくてはならないと思います。学校外部から指導者を積極的に招いて、スポーツを通じて青少年の心と体を鍛えてほしい。

「子どもキラキラタイム」を導入

このような状況を踏まえ、県では、県内小学校を対象に、本年度から三年計画で「子どもキラキラタイム」実践研究を進めています。この計画は、教育課程や時間割を工夫して、遊びや運動・スポーツ活動の時間、空間、

仲間の確保を行うなど、各学校がそれぞれの特色を生かし、楽しみながら力づくりなどができるような実践研究を進めています。市内の小学校でも、教職員が参加する外遊びなどを行い、スポーツや運動に親しむ機会を持つてもらおうと努めています。

部活動に外部指導者を派遣

中学校の部活動は、子どもたちがスポーツの楽しさや爽快感、達成感などを体験することにより、生涯にわたるスポーツに親しむ基礎が確立されるとともに、精神面の鍛錬にも大きな効果が期待されます。しかし、教員の高齢化や専門指導者の不足などで、子どもの多様なニーズに十分応えられていない面があります。

このような状況から、本市では、部活動の顧問の協力者として、地域のかたが技術面の指導を中心に行う「部活動外部指導者」を派遣しています。平成15年度は12人の派遣枠でしたが、本年度からは、48人の派遣を可能にし、

シリーズパート7

現在市内11の中学校で38人のかたに外部指導者としてご協力いただき、より魅力的で充実した部活動を展開しようとしています。秋は運動をするには最適な季節です。皆さんも生涯にわたって親しめるスポーツを見つけてみませんか。



お父さんやお母さんとくらべてみよう！

	お父さん 世代	子ども世代 (男子)	お母さん 世代	子ども世代 (女子)
身長	141.2cm	145.3cm <14.1cm>	143.5cm	147.4cm <13.9cm>
50m走	8.8秒	8.96秒 <10.16秒>	9.1秒	9.26秒 <10.16秒>
ソフトボール投げ	34.5m	30.86m <13.64m>	20.1m	17.49m <12.61m>
週3日以上、運動や スポーツをする子 どもの割合	78.8%	55.8% <12.30%>	74.1%	29.6% <14.55%>

※お父さん・お母さん世代は昭和47年度の11歳、子ども世代は平成14年度の11歳
※運動やスポーツは、学校での授業を除く
※「平成14年度体力・運動能力調査(文部科学省)結果」より

PROFILE



酒井 文和 さん
さかい ふみかず
南町在住 57歳
昭和45年度広島義塾
大学法学部卒業。同年
株式会社東急エージェ
ンシー入社。
営業部長、営業局長
を歴任し、平成13年
退社。

「小田原で生まれ育っており、少しでも地元貢献できればと考えた。一般的に行政の情報には分かりにくいといわれ、できる限り分かりやすく、効果的に発信したい」と語りました。



市の情報をより効果的に発信するため、専門的な見地や経験から助言、指導などを行う市政広報専門員を、9月1日(水)から17日(金)までの期間に公募しました。

小田原市市政
広報専門員は
酒井さんに
●広報広聴室 33 1261



出土品・落款
(江戸時代の
地下室から出土)

先人たちの生活の跡・遺跡

発掘調査により後世へ伝えます

市

内には、現在269か所の遺跡があり、そこには先人たちの生活の跡が残されています。遺跡は、一度破壊されると元の状態に戻せず、過去の歴史を知ることができなくなります。

そこで、遺跡のある箇所に家を建てたり、開発をする場合には、発掘調査を行い、その概要を記録しています。

平成15年度の調査は、本格調査を23地点、試験調査を32地点で行いました。これらの調査は、市民の皆さんのご理解とご協力があつてこそできるものです。

市教育委員会では、これら発掘調査の成果をより早く、そして分かりやすく市民の皆さんにお伝えするために、最新出土品展と遺跡調査発表会を開きます。

◆最新出土品展2004

く掘り出された小田原の歴史Ⅱ

平成15年度に、市内での発掘調査で明らかとなった遺跡を紹介し、遺跡から

ら出土した遺物を速報展示しています。
日時 11月28日(日)まで9時～17時
場所 郷土文化館

◆遺跡調査発表会

平成15年度に行われた発掘調査について、分かりやすく成果を発表します。
日時 11月20日(土)10時～16時30分
(開場9時30分)

場所 報徳博物館(二宮神社向かい)

参加費 500円(資料代)

内容

- ①平成15年度に行われた発掘調査の総括
- ②池上前畑遺跡第Ⅰ地点(縄文)
- ③久野一本松遺跡(縄文)
- ④千代吉添遺跡第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ地点(弥生・古墳)
- ⑤千代北町遺跡第Ⅹ地点(弥生・古墳)
- ⑥千代南原遺跡第Ⅺ地点(弥生・古墳)
- ⑦千代南原遺跡第Ⅻ地点(奈良・平安)
- ⑧西大友北畑遺跡第Ⅰ地点(古墳・平安)
- ⑨小田原城下本町遺跡第Ⅲ地点(中・近世)
- ⑩小田原城下天押下跡第Ⅲ地点(中・近世)
- ⑪史跡小田原城跡馬出門跡(近世)



発掘状況 本町(馬子堀)

遺跡分布地図配布中

遺跡の場所を分かりやすくお知らせするため、遺跡分布地図を作成しました。

また、遺跡から見た小田原の歴史、遺跡内で土木工事を行う際の遺跡の取り扱いについての手引き、遺跡の概要、参考文献などを載せた「小田原の遺跡とその取り扱い手引き」も作成しました。

これらの資料は、文化財保護課で無料頒布しています。この機会に、私たちの身近に残された地域の歴史を感じてみてはいかがでしょうか。



久野一本松遺跡の
縄文土器

文化財保護課

33 1 7 1 7

小澤市長が 全史協の会長に就任

文化財保護課 33 1 7 1 7



全国史跡整備市町村協議会大会

全 国683市町村が加盟する
全国史跡整備市町村協議会
(全史協)の総会が10月6日(水)に長
野市で開かれ、小澤市長が第9代
目の会長に就任しました。
全史協は、昭和41年に史跡など
を所有する市町村が、その調査研
究や具体的な方策の推進などを目的
として設立されました。
全国の史跡整備事業の推進役と
して加盟市町村と協調し、国や関
係機関へ積極的に関与していき
ます。

◀江戸時代にはなかった学橋と桜



小田原城 今昔物語

小田原城は、長い歴史の中で少しずつその姿を変えています。江戸時代の小田原城にはあったものが今はなくなっていたり、逆に江戸時代にはなかったものもあるのです。

文化財保護課 ☎33-1717

最初に、江戸時代にはなかった代表的ものを紹介しましょう。

二つの橋

お堀端通りから二の丸広場にかかる「まなび橋」。城址公園の入口として、多くのかたが利用しています。この橋の上から壁にえさを与えたことのあるかたは、結構多いのではないでしようか。また、馬出門土橋めがね橋を渡ると右側にある「隅櫓橋」。白の隅櫓と赤の橋とで城址公園の一つの景観として定着しています。

この二つの橋は、関東大震災後の小田原城復興事業の一環として架けられたもので

す。そもそも城は、敵に攻められにくいように工夫されているため、あまり橋は造られなかったのです。

北入口

城址公園を訪れるかたがよく通るのが、北入口。小田原駅方面から旭丘高校の前を右に曲がり、青橋の横を通過して、天守閣へ行くかたが多いようです。でも、この通路は、江戸時代にはありませんでした。本丸の周囲は、石垣と土堀で囲われていて、容易に入ることはできませんでした。常盤木門が、今はありませんが、鉄門を通らなければ、天守へはたどり着けなかったのです。



桜

桜は、春の小田原城の風物詩として全国的に知られています。青森県の弘前城や長野県の高遠城なども大変有名ですね。しかし、意外にも、江戸時代には今のようには城に桜をたくさん植えることはなかったようです。明治時代後半の日露戦争後に多く植えられたと言われています。

それでは、江戸時代にはあったもので今はなくなっているもののうち、あまり知られていないものを紹介します。

裏門・鉄門

「こんな門があったの？」と思われるかたも多いのではないでしようか。裏門は、今の城内弓道場の前付近にありました。今はその形跡も残っていません。この裏門付近

を通り抜けて直進すると、本丸の斜面が見えてきます。ちょうど、この突き当たりからやや右方向に向かって坂道があり、その上に鉄門がありました。現在は、本丸広場の売店やトイレがある付近です。

御殿

小田原城には二つの御殿がありました。本丸と二の丸です。本丸御殿は、3代將軍徳川家光が上洛(京の都に行くこと)する際に、將軍の宿泊施設として造られました。二の丸御殿は、城主の生活の場であり、また藩の政庁としての役割を担ったことです。能舞台も備えた立派な御殿だったので、絵図で確認できます。しかし、元禄16年(1703)の地震で倒壊消失してしまっています。その後、ほどなくして建て替えられましたが、消失前はど立派な造りではなかったようです。



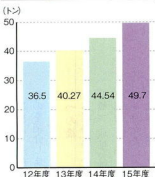
本丸御殿

馬屋・大腰掛

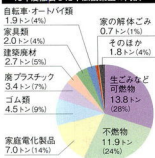
めがね橋を渡って左側、「水の公園」といわれるエリアは、馬屋曲輪だったところです。馬屋は、馬をつないでおく施設です。身分の高い武士が登城するとき、ここに馬をつなぎ、銅門を通過して二の丸に入っていたのです。これから高級武士の付き人たちは、大腰掛という待合室のような施設で主人を待っていたものと考えられています。

不法投棄物・散乱ごみの実態

不法投棄物と散乱ごみの撤去量の推移



15年度撤去した不法投棄物の内訳



不法投棄撲滅キャンペーン 11月14日(日)開催

「不法投棄をしない、させない、許さない」という認識を改めて皆さんに共有していただくため、城下町おだわらツーデーマーチ(11月20・21日開催)の事前清掃と小田原駅周辺での街頭キャンペーンを行います。

11月14日(日)は 全市一斉清掃の日

自治会では、毎年11月の第2日曜日を「全市一斉清掃の日」と定めて、皆さんの家の周りをきれいにしたい、回覧などで呼びかけています。市民の皆さん一人一人が、家の周りがあるごみを拾っていただくことにより街並みがきれいになり、ポイ捨て(不法投棄)しにくい環境になりますので、ご協力をお願いします。

- 街を汚さない人になるために
喫煙は灰皿のある場所だけで、携帯用灰皿を持ち歩きましょう
- 空き缶などは回収容器にいれましょう
- 不要なチラシは受け取らないようにしましょう
- 行楽地を汚さない人になるために
飲み物は家から水筒に入れて持つていくようにしましょう
- ごみ袋を持参し、自分のごみは必ず持ち帰るようにしましょう

- バトロールの実施
市職員や委託業者が随時パトロールを行い、投棄者を特定できた場合は、警察に通報しています。
- 合同夜間パトロールの実施
県、警察などと協力して夜間パトロールを行っています。
- 撤去作業の実施
さらなる不法投棄を防ぐために、投棄物を撤去しています。
- 啓発用看板の貸し出し
不法投棄で困っているかたに看板を貸し出しています。ご希望のかたは、環境総務課窓口までお越しください。

11月は 不法投棄撲滅強化月間

不法投棄は、残念ながら後を絶たず、最近では業者が捨てるような産業廃棄物だけでなく、一般の人が捨てたと思われる家庭用の電気製品や引越していらなくなったものが増えています。



住みよいまち小田原を後世に伝えていくため、この問題を考えてみましょう。

◎環境総務課 ☎33-1475

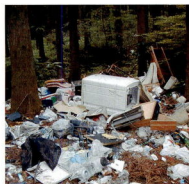
「ポイ捨て」も不法投棄!

「不法投棄」と聞くと、自分たちには関係ないなんて思っていないませんか? 空き缶やたばこの吸い殻を投げ捨てたり、イベントなどでお弁当のごみを置いてきてしまう、こんな行為も立派な「不法投棄」です。

「それでもこれくらいしているから」という気持ちから「ポイ捨て」が繰り返されると、ごみがごみを呼び、すぐにごみの山ができてしまいます。

清掃をする人が増える一方で、捨てる人がまだまだ多いのも悲しい現実です。「小田原市民は一人もポイ捨てをしません」といえる日をめざしましょう。

不法投棄を防止するために



家庭から出たと思われる不法投棄物



幼年消防クラブが 結成20周年

●予防課 ☎49-4425

秋季全国火災予防運動

11月9日(火)～15日(月)

全国統一防火標語
「火は消した? いつも
心に きいてみて」

これから火災が発生しやすい
時季を迎えるにあたり、火気
の取り扱いに注意し、各家庭
での防火対策や、地域単位で
「放火されない環境」を作る
ことが大切です。

市では、さまざまな機会を捉えて
防火についての啓発を行っています。
市内20の保育園や幼稚園が加入し
ている幼年消防クラブでは、幼児期
からの防火思想の啓発を始め、園児
や職員、保護者などを対象とした普
通救命講習や防災研修など、自衛力
の向上を目的としたさまざまな活動
を行ってきました。また、出初式や
消防フェアなどにも参加しています。

この幼年消防クラブが、今年で結
成20年を迎えたことを記念して、11
月12日(金)10時から、市民会館で「結成
20周年記念式典」を開きます。

また、11月9日(火)から23日(祝)まで
の間、マロニエロビーで、幼年消防
クラブ員である園児が描いた消防車
の絵を展示します。



小田原彩時記

「やったね! 磯崎さん」
アテネパラリンピックで
銀メダル



広報「おだわらいふ」9月15日号で
ご紹介した磯崎直美さんが、9月21
日(火)～26日(日)に行われたアテネパ
ラリンピックアーチェリー競技で、見
事個人2位となり銀メダルを獲得し
ました。

初日の予選を3位で通過した磯崎
さんは、翌日からの個人戦を順調に
勝ち進み、25日の決勝戦で惜しくも
イタリアの選手に敗れたものの、昨
年の世界選手権に続いて堂々の銀メ
ダリストとなりました。

帰国した磯崎さんは健康者に混じ
り、埼玉県で10月24日(日)～27日(水)
に行われた、彩の国まごころ国体に出
場しました。

市役所ロビーが
昭和30年代の羽田
空港に変身。ドラ
マ『弟』のロケで
話です。実は、市
役所が羽田空港と
して使用されるの
は、これが2回目。
1回目は、昨年放
送のドラマ『フジ
テレビ』の撮影時、当時の空港の
写真を見たスタッフの一人がこれは小
田原市役所だと言ったことから、依頼
があったものです。



秋のスペシャルドラマ「弟」(テレビ朝日)
石原慎太郎氏が弟の裕次郎氏の生涯
を描いた同名小説を映像化。小田原
では、市役所のほか市内各所で撮影
が行われました。

放映日 11月17日(水)～21日(日)21時
出演者 渡哲也、高島礼子、徳重聡
長瀬智也、仲間由紀恵ほか

フィルムコミッション撮影秘話 「小田原に空港?」

●広報広聴室
☎331261

今回は、5月2日にエキストラ約20
0人を動員しての大掛かりな撮影とな
りました。

2004年12月

成田エクスプレスが 小田原にやってくる 小田原と成田空港が直結！

都市総務課
33-1267



写真提供：JR東日本横浜支社

市からもJR東日本へ延伸を要望してきた「成田エクスプレス」が、右記のとおり小田原駅に停車し、大変便利になります。

運転日 平成16年12月18日①～平成17年1月16日②

※利用動向に合わせ、当園は、上記の日程で運転されます。

成田エクスプレス27号	小田原(13:05発) ⇒ 成田空港(15:28着)
成田エクスプレス10号	成田空港(9:43発) ⇒ 小田原(12:09着)

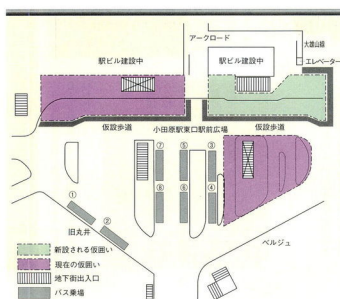


小田原駅に旧駅舎がビッグスクリーンで再現

心におみやげ、
見つけて小田原。

大正9年の開業から昨年の新駅舎への建て替えまでの82年間、市民の皆さんに愛された三角屋根の旧小田原駅舎。この写真が小田原駅JR改札を入ってすぐの壁面に、ビッグスクリーン(縦5.2m×横13.5m)で再現されました。

これは、市内の櫻木達夫さん所有の写真をもとに、(株)ジェイアール東日本企画が企画・制作したもの。写真は開業間もないころのもので、当時の雰囲気が伝わってきます。



11月中旬から、東口整備工事のため、仮囲いが増えます。
アークロードから広場中央のバスのりばへ行かれるかたは、大雄山線の前のエレベーター・階段から広場へ出て、地下通路をご利用ください。
工事の仮囲いは最小限にしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

小田原駅東口の工事情報

④ 広域交流拠点整備課
道路補修課
33 1 6 5 6
33 1 6 4 6